

代表質問



公明党
長谷部 竜作
議員

市制施行10周年について

問 今後の市のあり方について、市長の考えはどうか。

答 市長 今までの10年を踏まえて、地域コミュニティを大切にしながら、市として1つにまとまり、現在まとめている創生戦略を展開していきたいと考えています。市の人口は、今後10年間、急速に減少していきます。この人口減少は、市の財政にも影響をもたらします。小中学校の統

防災について

問 地域防災力向上のため、災害対策コーディネーターを推進してはどうか。

答 総務部長 知識と経験を有する地域のリーダー的な方として、消防団員、自主防災組織

の代表に、優先的に災害対策コーディネーターとなっていたいただきたいと考えています。養成講座は、災害対策コーディネーターのネットワーク作りをどのようにしていくのかとあわせて、検討していきます。

福祉について

問 むつみのおか幼稚園のこども園化について、進捗状況はどうか。

答 保健福祉部長 公私連携保連携型認

教育について

問 未来を見据え、老朽化が著しい給食センターを統合し、新設してはどうか。

答 教育長 統合・新設の場合、約28億円の事業費がかかる見込みです。自校給食では、10校程度の試算で約30億円の見込みです。今後、検討を行います。



老朽化が心配されている給食センターの調理用設備

問 HUG（ハグ・避難所運営ゲーム）の実施はどうか。

答 総務部長 消防防災課が主体となり、今年度中に避難所開設担当者による、避難所運営ゲームの実施に取り組んでいきます。

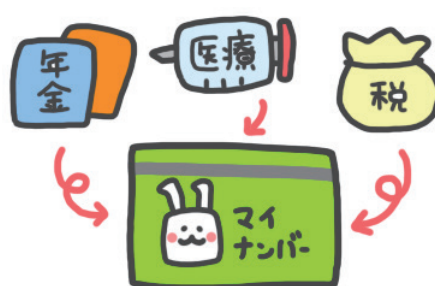
マイナンバー制度について

問 マイナンバー制度での個人情報保護やデータのセキュリティ対策はどうか。

答 総務部長 新たに端末を購入し、既存システムに接続する端末とインターネットに接続する端末を分離する対策を行います。マイナンバーを扱うネットワークとインターネットを分離することにより、情報流出のリスクを最小限に抑えます。それでも、100%とは言えませんが、情報の厳格な管理、運用をしていく必要があると考えています。

問 仮にデータが漏えいした場合、どのような影響があるのか。

答 総務部長 マイナンバー制度では、個人情報とは特定の機関等に集約、一元化されて管理するのではなく、例えば、住民票は市が、年金給付額は年金事務所が、と



いったように、様々な行政機関がバラバラに管理・保有することになります。他の行政機関の個人情報が必要となる場合には、情報提供ネットワークを介して、照会、提供する分散管理方式としています。そのために、個人情報が必要と漏れるようなことはありません。